

議会だより

■発行
大刀洗町議会
■編集
議会報発行特別委員会

〒830-1298 福岡県三井郡大刀洗町大字富多819

TEL (0942) 77-4112



きれいに育ってくれるかな (2月 本郷ふれあいセンター)

議案・意見書

P 2

一般質問

P 3

町民の声

P 8

3億円を予算増額

- 子宮頸がんワクチンに助成開始
- 町税の前納報奨金を廃止

12月 議会

条例

一般会計の主な増額分	
菊池小学校改修	1億5,251万円
役場の書庫新設	3,800万円
子宮頸がん等 ワクチン接種委託	3,060万円
保育園運営費	6,283万円
グラウンド整備	590万円

ひとり親家庭など医療費
の支給改正

児童扶養手当を父子家庭
にも支給する法改正が
行われたことによるもの。
全会一致で可決。

人事院勧告に伴い減額
するもの。
賛成多数（10対1）で
可決。

税条例の改正

来年より町税の前納報
奨金制度を廃止する。
全会一致で可決。

補正予算

270万円を減額し、1億
6810万円とする。
補正予算はいずれも全
会一致で可決した。

人権擁護委員の推薦

TPP（環太平洋経済連
携協定）への対応に関する意見書

一人暮らしの寡婦医療制度に関する意見書

請願・意見書

一人暮らしの寡婦医療制度に関する意見書

紹介議員：山田、古賀
請願者：みい農業協同組
合代表理事組合
長ほか

一人暮らしの寡婦医療制度に関する意見書

政府はTPPについて、
情報収集を進め関係国との
協議を開始するとした。
TPPは、仮に締結され
れば国内の農業はもち
ろん、地域経済、社会、
雇用が大打撃を被ること
は必至であり、食糧の自
給率の低下により安定供
給が脅かされ国民に大き
な不安を与えることにな
る。よってわが国の農業
に打撃を与えるTPP交
渉には参加しないことや、
食糧の安全保障の確保、
自給率向上の政策などを
求めるものである。

政府はTPPについて、
情報収集を進め関係国との
協議を開始するとした。
TPPは、仮に締結され
れば国内の農業はもち
ろん、地域経済、社会、
雇用が大打撃を被ること
は必至であり、食糧の自
給率の低下により安定供
給が脅かされ国民に大き
な不安を与えることにな
る。よってわが国の農業
に打撃を与えるTPP交
渉には参加しないことや、
食糧の安全保障の確保、
自給率向上の政策などを
求めるものである。

母子及び寡婦家庭を取り巻く環境は、不安定な
雇用環境、低迷する経済
状況等の社会情勢のなか
にあって、その生活は不安に晒されている。なか
でも一人暮らしの寡婦については低所得者が多く、
国保料や介護保険料などが大きな負担となつてお
り、高齢化に伴い病税率が高くなり、医療費の生
活費への影響も大きくな
っている。よって、県においては、「一人暮らし
の寡婦」が安心して生活できるよう、医療費助成
制度の復活を希望するものである。



任期はいずれも23年4
月より3年間。
全会一致で同意。

賛成多数（10対1）で
採択し、関係大臣に送付
した。

全会一致で採択され、
意見書を、麻生渡福岡県
知事に送付した。

教育長　いじめは決して
許されないことである。
自ら命を絶つことでしか
訴えることができなかつ
た子どものつらさ、悔し
さ、寂しさを考えると、
いじめ根絶の思いを強く
感じる。

○ P T A 総会、全校集会
での学校対応の説明会
○ 学校生活アンケート結果
における指導
○ スクールカウンセラー



多田時治 議員

学校の諸問題の解決は

は、いま、行っていること

議員 いじめ対策にどう取り組んでいるか。子どもからのシグナルを受け取るための注意点は。

具体的に取り組んでいる

教育長 いじめは決して許されないことである。

- 年2回家庭用チエックリストの保護者用配布実施
- 学校生活アンケートの年2回実施
- 気になる子どもの教育相談
- など、各学校の実態に応じて実施している。

町政を
問う!

般

質

四

の活用

議員 社会問題として、教育委員会や校長先生の対応の仕方が問われているが。

頭に置き、小さなシングナルも見逃さないようにしている。また、対応については責任回避せず、事実は事実として問題解決にあたる。



町で教育方針を定めている

議員 先生の事務量が増えるのではないか。
教育長 通知表の簡素化統一化を図りながら事務量を抑制する方向である。学校施設環境整備やティーチングなどの

習と評価の期間が長く、子どもの学習意欲や効率を高める点で課題がある。3学期制のメリットは、評価回数が増え子どもの学習意欲が高まる。高校受験の対応がしやすい。

議員 2学期制を3学期制に戻すことによるメリットは何があるか。

議員 個々の生活レベル
に格差があると、子ども
の成績に影響があるとい
われているがどうか。

教育長 文部科学省が平成20年に調査した結果、年収の多い家庭ほど子どもの学力が高いことが裏付けられている。

しかしながら、学習規律を徹底し、実践的研修を重ねて事務改善を図れば、経済力が低くても子どもの学力の底上げができると考

この原稿は、質問者本人の責任で質問内容を要約したものであります。

学習指導要領の改定はどうする

については、円滑に運営されていると考える。(2)

の授業力向上を図ることで実践力を高めたい。

円滑な運営を図る



山内 剛 議員

議員 文部科学省は20年3月に学習指導要領の改訂を行い、ゆとりから学力向上へ転換するとしているが、町の学校現場や教育委員会としてはどのようく運用するか。また、内容について、①小中学校で先行実施した理科・算数（数学）の思想は②時間割について③教育に新聞（N・I・E）を取り入れることにどう思うか④学校教育のうえで地域のかかわりが言われているが、どのように考えるか。最後に新学習指導要領は内容が増えるので、子ども達が勉強についていけるか、それと教師の指導力は大丈夫か。



大刀洗の米作はどうなるか

教育長　古賀の主なボーナントは、基礎的な知識、技能の習得、思考力、判断力、表現力の育成、確かな学力を確立するためには必要な授業時間数の確保、そして豊かな心や健やかな体の育成のための指導の充実である。①本格実施に向けた移行期間

最後に、教科書を全て教えるのではなく、優先順位をつけて、軽くと重く扱うところを各学校で検討している。教師の指導力については、実践的な研修を通じて、先生方

議員 本年度より米農家戸別所得補償制度が始まつたが、農家の方がどういう期待と不安を持つてあるか。また、本町での補助金交付申請の件数と面積、新旧制度による収入比較は。



山田英敏 議員

あると思うがどうか。

町長 小郡大刀洗地域防災訓練を2年に1回開催し、その中で避難訓練を実施している。災害発生

町長 今回から生産の調整はしないという国の政策などを利用して、自分の農業に合った政策は積極的に取り入れることと思われる。

町長 今回から生産の調整はしないという国の政策などを利用して、自分たちの農業に合った政策は積極的に取り入れることと思われる。

また、本町の農業者173戸のうち交付申請対象者は629名、面積は1

また、本町の農業者173戸のうち交付申請対象者は629名、面積は1372haである。

平成21年度は交付金が1億1890万円、22年度は2億1603万円が交付される予定である。

町全体、あるいは地域や隣組などの組織ごとの訓練を行い、いざという時の災害に備える必要があることも大事である。

議員 大刀洗町にも防災

練を計画すれば、地域での防災力はより高められるのではないかと考える

災害時の避難訓練は

地域の防災力も大切

町長 小郡大刀洗地域防災訓練を2年に1回開催し、その中で避難訓練を実施している。災害発生時の避難訓練は年1、2回実施した方が効果的であろうと思う。町主催で全町的な訓練を実施することも一つの方法だが、阪神大震災以来、地域で防災力を高め、自助、公助、公助による地域づくりが求められていることから、各校区や行政区ごとに避難訓練を実施することも重要と考える。自分達の地域は自分達で守る観点から地域で避難訓練を計画すれば、地域での防災力はより高められるのではないかと考える。



地域の防災訓練（三井署・下高橋）

計画があり、このマニュアルに沿った日頃の訓練を年1、2回実施して頂きたい。また、筑後川洪水ハザードマップが建設課にあるが非常に小さい。区長会で作成中のマップがカラフルで分かりやすいので、このようなものを作成すべきではないか。避難場所の確認など、隣組くらいの組織で全町民に周知徹底できるような体制の確立を。

町長 今年は初めて小石原川沿いに避難勧告を出したが、しかしその結果、各方面に相当な迷惑をかけたので簡単に避難勧告は出せないと感じた。小石原川が決壊すれば、どの辺が浸水の危険があるのか国交省筑後川事務所に調査を依頼している。

議員 防災行政無線は、全国各地で危機管理能力を高めるために整備の推進がなされている。地震、台風、集中豪雨等とともに、なう土砂崩れ、河川の氾濫、火災等の災害から住民の生命財産を守り、被害の拡大を防止するため、正確かつ迅速な情報伝達や収集は必要不可欠であると考える。現在の広報車による伝達では、行政の町づくりを進めるためにも、行政情報の提供の手段としても整備が必要であると考えるがどうか。

議員 防災行政無線は、全国各地で危機管理能力を高めるために整備の推進がなされている。地震、台風、集中豪雨等とともに、なう土砂崩れ、河川の氾濫、火災等の災害から住民の生命財産を守り、被害の拡大を防止するため、正確かつ迅速な情報伝達や収集は必要不可欠であると考える。現在の広報車による伝達では、行政の町づくりを進めるためにも、行政情報の提供の手段としても整備が必要であると考えるがどうか。

議員 新型インフルエンザ、集中豪雨に関して、町民に正確な情報を伝達する必要に迫られており、整備は大変重要な課題と考える。また、平常時には、定期的放送、児童の帰宅を促す放送、行方不明者の捜索依頼、変質者、不審者出没の警告、町や各行政区の行事の案内など、行政情報の提供に資するものであり、今後、町民の方と十分話し合いながら検討をする。

議員 選挙事務従事者の手当は高いという話もある。21年度衆議院選挙のとき、人材派遣会社より8名の派遣を受けたとき



長野正明 議員

防災行政無線の整備を

選挙費用の使い方は

議員 選挙時の投票、開票事務の従事者、期日前投票事務の臨時職員はどうにして採用されているか。また、投票、開票事務の手当の金額は、何を基準に算定されているのか。

議員 選挙時の投票、開

は、半分以下の時給100円程度であつたと聞くべきでは。

課長 人材バンクから採用して配置したときは、小さなトラブル等も発生した。職員の場合、投票事務が正確にスムーズにいくように事前研修も行っている。

町長 昨年の参議院選挙

では、全職員が講習を受け、開票事務の迅速化に取り組み、2時間ほど早く終了できた。今後は、開票事務の迅速化の成果、選挙事務の交付額の動向、近隣市町村の状況などを総合的に勘案して見直しを含め検討をする。

町長 期日前投票事務の臨時職員は、採用を希望し登録している人から採用している。投票、開票事務従事者は、役場職員に対し選管委員長が選挙事務を委嘱する形をとっている。投票事務手当3万円、開票事務手当9500円については職員の時間外手当相当額で計算をしている。

議員 選挙事務従事者の

手当は高いという話もあ

る。21年度衆議院選挙の

とき、人材派遣会社より

8名の派遣を受けたとき

なぜ国保税は高いのか



平山賢治 議員

議員 町の国保税は、所得200万円の4人家族で計算した場合、県内60自治体のうち9番目に高い。いつまでも住民が使っていける医療費はどれくらいか。滞納率はどうか。

4番目と低い。住民は眞面目に払い、あまり病院にもかかっていないのに、なぜ国保税がこんなに高いのか。町からの繰り入戻が少なすぎるのではないか。

町長 確かに町からの繰り入れは少ないが、本来は繰り入れをせずに医療費縮減などの方策をとるべきと考える。

議員 町長、係長、国保ひとりあたりの医療費は県内で36番目である。後期高齢者の医療費は55番目、滞納率は下から4番目である。

議員 滞納の一覧を分析すると、所得が200～400万円の世帯に滞納が集中しており、税の負担が重い実態が明らかである。繰り入れと同時にこの階層の負担見直しを強く求められる。

議員 医療費は平均以下で、後期高齢者にいたつては下から5番目の医療費、かつ滞納率も下から

議員 仮に可燃ごみの排出量が半減したとすると、可燃ごみの減量は

町の負担はどう減るか。大木町では循環に取り組み、生ごみと紙類を分別することで可燃ごみを57%にまで減らしている。財政面からも、環境の面からも検討するべきでは。

周知と啓発に努める

町長 可燃ごみが半減した場合、町から衛生組合への負担は4000万円ほど減少する。

ごみ減量は重要だが、

地域での理解と地道な取り組みが必要なので広報

・周知に努めたい。

議員 生ごみは、畑へ埋める世帯とか、処理機を使っている世帯とかあると思うが、各家庭でどのような処理をされているのかまずは実態把握を。

また、紙類は週1回の資源ごみに出せばいいので

すぐでも周知努力を図つもらいたい。

町長、副町長や課長など

の府議で決定した。

事業仕分けの対象選びは

下高橋の県道に信号を



古賀正巳 議員

中の信号機の設置は難しいと思われる。

大刀洗川の浚渫

議員 下高橋では長年の念願であった通学用の橋も完成したが、県道53号線を横断する信号機はなく、逆に不便である。法定速度で走っている車はなく、接触事故も発生している。早急の設置を願いたい。

町長 毎年機会がある時に、県に対して陳情や要請書を提出している。地元の県議も相当強く言っている。本年の計画は宝満堰より鵜木川の合流点までを実施、今後は本年の雨季前に完了する。また、上流の浚渫を予算の中で実施することを県の担当課に確認をしているところである。

申請しているが未設置

町長 地元および町の要望書として警察署に申請している。

陳情しているが難航

町長 每年機会がある時に、県に対して陳情や要請書を提出している。地元の県議も相当強く言っている。本年の計画は宝満堰より鵜木川の合流点までを実施、今後は本年の雨季前に完了する。また、上流の浚渫を予算の中で実施することを県の担当課に確認をしているところである。

子宮頸がんの検診推進を

議員 子宮頸がんは1万人、乳がん4万5千人の人が発病している。うだご、全国的に検診が伸びていないと言われている。本町ではどうか。

うだが、全国的に検診が伸びていないと言われている。本町ではどうか。受診率向上を期待している。働く人の利便性等を考慮した検診とし、受診率向上を期待している。たが、なかなか伸びないのが現状である。

課長 対象者は乳がんが1467名、子宮頸がん1978名で、うち受診者はそれぞれ316名と372名である。受診率は子宮頸がん、乳がんとも20%前後で推移しており、

今回の補正予算で中
学1年から高校1年生の
女子に限り子宮頸がんの
予防ワクチンを助成する
こととした。検診の必要
性、意義についても啓蒙
を実施していきたい。

A black and white photograph showing a group of approximately 15-20 people standing behind a metal railing on a bridge. The individuals are dressed in a mix of white coats, some with stethoscopes, and a few in more formal attire like a suit and tie. They are looking towards the right side of the frame, where a body of water and a range of hills are visible under a clear sky. The bridge railing is prominent in the foreground.

通学路は開通したが… (下高橋)

販路拡大員の活動と対策



花等順子議員

町の活性化を第一に

町長 ①町内特産品の開発と販路調査、販売促進

③井上パーキングエリアでは高速道路の利用促進

副町長 内部だけの議論ではなく、外部からの目

議員 政府の緊急雇用事業で採用した販路拡大員3名は、町の情報収集・商品開発・資料づくりをはじめ、暑さ寒さと戦いながらの直売によく頑張つてある。町長はこの活動と成果を今後どのように生かそうと考えてあるのか。

発見 本町のPRを目的に週4日体制で採用している。主に大刀洗平和記念館において町内特産物の販売と観光PRのパンフレットを配っている。他に町村フェアやドリームまつりにおける大刀洗観光ツアーや企画、実施し好評を得た。

的とした街光PRと交通安全啓発を行つてゐる。した上で判断したい。

④町内のいくつかの団体組織から直売所設置の要望があるが、財政負担を伴うことから、設置場所の選定や規模、集荷組織や販売体制のあり方など費用対効果を考え、検討

議会の理解があれば当面議論を交わす中でよりよい方向に持つていきたい。

職員間あるいは議会と議論を交わす中でよりよい方向に持つていきたい。

ではないかと考える。

事業仕分けの仕方

①販路拡大員の仕事内容
とその目指すものは
②平和記念館の直売状況
と運営のあり方と今後
の対策は
③井上パークリングエリア
での実状
④大刀洗町に直売所を設
置する考えはあるのか。

販路拡大員の活動によ
り、農産物の販売で高齢
者の生きがいを生み出せ
ればと思う。また、本町
のよさをPRすることで
町内への定住を促し、人
口を減らさない地域づく
りにつなげたいと考える
②直売所「大刀洗ひばり
」を中心に15の組織の方と
販売委託契約を結び、野

議員 12月4日に実施された事業仕分けの結果はとても厳しいと見る人と至極当然と見る人がいる。私は、出るべき結果が出たと思う。事業仕分けは今回のように予算を使つて外部の目を入れるのも

菜、加工品、工芸品、革子などを販売している。

大切なが、職員の意思疎通をよくし、職員間や議会での議論をつくせば出

フォトニュース



成人式・祝賀パーティー(1月9日)



町議会で門松を立てました(12月)

議会を傍聴しませんか

3月議会
3月8日(火)から
一般質問は
3月20日(日)
(いずれも予定です)

どなたでも自由に傍聴
できます。

お問い合わせ
議会事務局 77-4112

大刀洗町は昨年より各
校区センターに職員を配
置し、地域づくり事業に
力を入れています。



大堰の地域づくり

高食 矢野 義臣さん

つてどのように大事なこと
となのかを知つてもらう
ために、8月30日に地域
づくり説明会を開催し、
100名近い人の参加を頂き
ました。

説明会後に区長、民生
委員、小中学校PTA、
商工会などの各種団体に
呼びかけワークショップ
を開催することにし、第
1回目を12月13日に開催
しました。当日は雨のた
め、参加者の心配をして
おりましたが、50名を超
える参加があり8班に分
かれてグループ討議を行
いました。

私にとつては初めての
挑戦ではあります。アドバイザーや行政の指
導を受けながら、参加者
の一人です。

雪化粧の元旦。すべて
のものを純白にして年は
明けた。まつ新な気持ち
で物事を考えよと言わ
いました。

議会委員会
議会報発行特別委員会
委員長
平田一成
委員員員
平森古賀
委員長
副委員長
花等
長野正明
正明順子
賢治正雄
巳雄

議会委員会
議会報発行特別委員会
委員長
平田一成
委員員員
平森古賀
委員長
副委員長
花等
長野正明
正明順子
賢治正雄
巳雄

のいろいろなアイデアに
思わず聞き入り、決めら
れた時間をついついオー
バーするなど、意外に面
白い、意見や思いの収集
の場になりました。

今後も、地域組織の協
力と共に進行係を決め自由
に意見を出し合いました。
また、憩いの場や移動
の支援となる交通機関が
あつたらしいとの意見が
多數を占めました。

私にとつては初めての
挑戦ではあります。アドバイザーや行政の指
導を受けながら、参加者
の一人です。

編集後記